



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社KHC 上場取引所 東
コード番号 1451 URL <https://www.khc-ltd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 喜夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 青木 渉 TEL 078-929-8315
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,473	△3.2	454	15.9	425	20.7	273	21.4
2023年3月期第3四半期	7,716	△8.3	392	14.2	352	12.0	225	12.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 274百万円 (21.5%) 2023年3月期第3四半期 225百万円 (11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	68.69	—
2023年3月期第3四半期	56.85	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,860	6,313	42.5
2023年3月期	16,130	6,157	38.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 6,313百万円 2023年3月期 6,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	18.00	33.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,502	4.1	550	△8.8	476	△13.2	307	△13.6	77.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	4,005,350株	2023年3月期	3,985,350株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	10,527株	2023年3月期	10,527株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	3,986,823株	2023年3月期3Q	3,968,689株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に伴う行動制限の緩和など、社会経済活動の正常化に向けた動きにより、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や円安進行に起因する原材料・エネルギー価格の高騰に伴う物価上昇、金融引き締め等による世界経済の減速懸念などの下振れリスクもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する住宅業界におきましては、持家及び戸建分譲住宅の新設住宅着工戸数が、長期に亘って前年同月割れの低調な推移となるなど、戸建住宅市場の低迷が深刻さを増しております。また、建築資材価格高騰に伴う住宅取得価格の上昇や物価高に起因する住宅取得マインド低下の影響が懸念されるなど、依然として厳しい受注環境が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループは、連結子会社5社がそれぞれの特色を活かした独自のブランドを構築するマルチブランド戦略と、成長戦略としてのエリア拡大及び顧客層の拡大により地域におけるマーケットを確立し、長期的に成長することを経営戦略として事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続き、受注済み案件の早期着工と工事進捗管理の徹底に注力するとともに、注文住宅の受注悪化に伴う期首の受注残減少に起因する売上高の減少を、建売住宅へのシフト等でカバーすることにより、売上高と利益の確保に努めました。第2四半期には、兵庫県初となる平屋専用分譲地「hitotoki（ひととき）」（兵庫県加古郡稲美町）において、当社グループ5社それぞれの平屋モデルハウスをお披露目する街びらきイベント「平屋いえまち博」を開催し、低迷する注文住宅市場においても人氣が根強い「平屋住宅」の魅力を訴求することで、住宅取得の潜在ニーズの掘り起こしに注力いたしました。

注文住宅におきましては、依然として厳しい受注環境を背景に、新規受注の獲得に苦戦を強いられており、受注残が前年同期に比べて大幅に減少いたしました。

また、注文住宅の完成引渡棟数が、期首の工事中案件が前年同期に比べて少なかったこと等により、前年同期に比べて大幅に減少したため、当第3四半期連結累計期間における「住宅請負」に係る売上高は、前年同期を下回ったものの、利益面では、価格転嫁による原価率の改善がプラス材料となり、連結業績における各段階利益の増加に大きく寄与いたしました。

建売住宅におきましては、注文住宅において見込まれる売上高の減少をカバーすべく、販売価格の見直しなど、値頃感のある価格設定による販売促進に注力いたしました。また、工期のサイクル短縮を厳格化するなど、販売とのバランスがとれた在庫マネジメントの強化に努め、適正在庫が確保できる体制構築への取り組みを進めました。原価上昇に伴う販売価格の高騰で、顧客の動きが鈍化するなど、足元の建売住宅市場における需給バランスが悪化している中ではありましたが、販売促進策を推し進めたことが功を奏し、引渡棟数が前年同期に比べて増加したため、当第3四半期連結累計期間における「分譲用建物」に係る売上高は前年同期を上回る実績となりました。

分譲用土地におきましては、注文住宅における受注不振の影響等により、引渡区画数が前年同期に比べて減少したため、当第3四半期連結累計期間における「分譲用土地」に係る売上高は、前年同期を下回る実績となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,473百万円（前年同期比3.2%減）となり、営業利益は454百万円（同15.9%増）、経常利益は425百万円（同20.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は273百万円（同21.4%増）となりました。

なお、当社グループは住宅事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載をしておりません。売上種類別の概況は、以下のとおりです。

「住宅請負」につきましては、完成引渡棟数が177棟（前年同期は205棟）となり、売上高は4,311百万円（前年同期比9.6%減）、「分譲用土地」につきましては、引渡区画数が122区画（前年同期は132区画）となり、売上高は2,146百万円（前年同期比7.1%減）、「分譲用建物」につきましては、引渡棟数が43棟（前年同期は29棟）となり、売上高は882百万円（前年同期比59.5%増）、「その他」につきましては、仲介手数料の増加により、売上高は133百万円（前年同期比58.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,269百万円減少し、14,860百万円となりました。

流動資産につきましては、仕掛販売用不動産が639百万円増加した一方で、現金及び預金が932百万円、完成工事未収入金が422百万円及び販売用不動産が685百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,307百万円減少し、12,624百万円となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産が54百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ37百万円増加し、2,235百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,425百万円減少し、8,546百万円となりました。

流動負債につきましては、工事未払金が115百万円及び1年内返済予定の長期借入金が195百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ422百万円減少し、5,345百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が985百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,002百万円減少し、3,201百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ155百万円増加し、6,313百万円となりました。

これは、配当金の支払131百万円があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益273百万円を計上したことに伴い利益剰余金が142百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は42.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では、2023年5月8日付「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました業績予想数値に変更はありません。今後、連結業績予想に修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,323,277	3,390,323
完成工事未収入金	1,010,782	588,725
未成工事支出金	7,512	9,547
販売用不動産	5,929,695	5,243,897
仕掛販売用不動産	2,424,283	3,063,916
原材料及び貯蔵品	12,171	14,011
その他	225,669	314,912
貸倒引当金	△1,353	△781
流動資産合計	13,932,038	12,624,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	875,993	880,634
土地	980,174	996,234
建設仮勘定	—	32,173
その他(純額)	14,857	16,500
有形固定資産合計	1,871,024	1,925,543
無形固定資産		
ソフトウェア	48,188	41,063
その他	226	226
無形固定資産合計	48,414	41,289
投資その他の資産		
投資有価証券	1,898	2,259
繰延税金資産	146,795	134,446
その他	161,668	162,507
貸倒引当金	△31,741	△30,330
投資その他の資産合計	278,620	268,882
固定資産合計	2,198,059	2,235,715
資産合計	16,130,097	14,860,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	582,590	466,724
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	4,434,417	4,239,152
未払法人税等	97,352	83,952
未成工事受入金	55,314	33,246
賞与引当金	59,600	25,772
役員賞与引当金	13,000	11,250
完成工事補償引当金	16,797	14,169
その他	309,183	271,028
流動負債合計	5,768,256	5,345,296
固定負債		
長期借入金	3,994,642	3,008,691
退職給付に係る負債	209,508	192,854
固定負債合計	4,204,150	3,201,545
負債合計	9,972,406	8,546,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,504	484,054
資本剰余金	967,061	973,611
利益剰余金	4,712,887	4,855,281
自己株式	△18	△18
株主資本合計	6,157,434	6,312,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257	498
その他の包括利益累計額合計	257	498
純資産合計	6,157,691	6,313,427
負債純資産合計	16,130,097	14,860,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	7,716,650	7,473,416
売上原価	6,227,229	5,891,054
売上総利益	1,489,421	1,582,362
販売費及び一般管理費	1,096,878	1,127,475
営業利益	392,542	454,887
営業外収益		
受取利息	152	147
受取配当金	77	84
貸倒引当金戻入額	2,443	2,046
受取手数料	4,384	3,880
受取保険金	—	3,219
助成金収入	6,200	—
その他	2,449	4,541
営業外収益合計	15,707	13,919
営業外費用		
支払利息	44,659	41,905
その他	10,684	1,064
営業外費用合計	55,343	42,969
経常利益	352,906	425,836
特別利益		
固定資産売却益	—	584
特別利益合計	—	584
特別損失		
固定資産除却損	3,502	3,009
特別損失合計	3,502	3,009
税金等調整前四半期純利益	349,404	423,411
法人税、住民税及び事業税	106,669	137,318
法人税等調整額	17,132	12,229
法人税等合計	123,801	149,548
四半期純利益	225,602	273,863
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,602	273,863

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	225,602	273,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	241
その他の包括利益合計	△26	241
四半期包括利益	225,576	274,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,576	274,104

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

第2四半期連結会計期間において、保有目的の変更により、販売用不動産14,599千円を土地に振替えております。

(セグメント情報)

当社グループは、住宅事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。